# 伊木忠澄終焉の地

| 設置位置 | | 表示内容 |
|---|---|---|
| 所在地 | 岡山市北区駅前町二丁目 | |

# 旧第一岡山中学校

| 設置位置 | | 表示内容 |
|---|---|---|
| 所在地 | 岡山市北区丸の内二丁目2番900 | |

# 室戸台風と堤防整備

| 設置位置 | | 表示内容 |
|---|---|---|
| 所在地 | 岡山市北区丸の内二丁目3番908付近 | |

岡山歴史散歩　―城下町をめぐる―

## 室戸台風と堤防整備

昭和9年(1934)9月21日の室戸台風に伴う洪水により、東へと流出する旭川の流れを受け止める桜馬場の堤防が決壊し、岡山市内に深刻な被害を及ぼしました。これを受けて、堤防高を高くし、現在の強固な堤防が整備されました。また、西井筋の流下能力が小さかったため、旭川左岸側の北側で分岐させ市庁付近の水量を抑えました。川沿いに設置されている「治水の碑」には、その詳細について記されています。

決壊前の堤防には、民家が建っており、現在のような道として利用できるものではありませんでした。堤防整備により民家が取り払われ、現在の道路が整備されたことで、岡山城を見学する観光客の利便性が向上しました。また、岡山城本丸を校地とした岡山県立一岡山中学校の生徒にとっても主要な通学路となりました。

（参考文献：岡山市史（概説編））

岡山市

# 生坂藩の長屋門

| 設置位置 | | 表示内容 |
|---|---|---|
| 所在地 | 岡山市北区丸の内二丁目7-115 | |

# 対面所跡

| 設置位置 | | 表示内容 |
|---|---|---|
| 所在地 | 岡山市北区丸の内二丁目7-115 | |

# 烏城紬

| 設置位置 | | 表示内容 |
|---|---|---|
| 所在地 | 岡山市北区奉還町四丁目102-10 | |

# 宇喜多直家・秀家

| 設置位置 | | 表示内容 |
|---|---|---|
| 所在地 | 岡山市北区磨屋町6-101/102 | |

# 杉山岩三郎屋敷跡

| 設置位置 | | 表示内容 |
|---|---|---|
| 所在地 | 岡山市北区田町一丁目1001 | |

# 八幡宮と富山城

| 設置位置 | | 表示内容 |
|---|---|---|
| 所在地 | 岡山市北区矢坂東町3122/3123 | |

# お塚様・お塚様古墳

| 設置位置 | | 表示内容 |
|---|---|---|
| 所在地 | 岡山市北区津島福居二丁目2315-1 | |

# 津島公館（旧安井邸）

| 設置位置 | | 表示内容 |
|---|---|---|
| 所在地 | 岡山市北区津島新野1000-1 | |

# 大覚大僧正と題目石

| 設置位置 | | 表示内容 |
|---|---|---|
| 所在地 | 岡山市北区東花尻469 | |

岡山歴史散歩 ―まちの歴史を知る―

多言語での説明はこちらから

（韓国、中国語、英語）

The multilingual version is available from here.

だいかくだいそうじょう　だいもくいし

## 大覚大僧正と題目石

大覚大僧正(1297～1364)は日蓮聖人(1222～1282)の弟子である日像聖人(1269～1342)に師事し、師の命を受け元弘3年～康永1年(1333～1342)にかけて中国地方に日蓮宗を広めました。辻説法により教法は広められ、以降大覚大僧正の石碑とともに、題目石の建立が相次ぎ民衆の法華信仰の対象となりました。

中央の題目石(③-1)は天正19年(1591)2月13日、日戒上人の建立とみられ、右側の題目石(④)は享保4年(1719)、左側の題目石(②)は天明6年(1786)、手前左側の題目石(①-1)は文政6年(1823)４月の建立とみられます。

（看板提案：庭瀬かいわい案内人）

岡山市

# 三玉宮（腰折様）

| 設置位置 | | 表示内容 |
|---|---|---|
| 所在地 | 岡山市北区中撫川670 | |

岡山歴史散歩　まちの歴史を知る

三玉宮（腰折様）

伝承によると、この地は古戦場であり、戦いで傷を負った武士が休んでいるところへ敵兵が迫り、追い詰められた際「祀ってもらえれば、腰の病に霊験を与える」と言い残して討たれた場所と云われています。その霊を祀ったのが三玉宮（腰折様：この地域ではこしおり様、こしおれ様とそちらの呼び方も使われています。）です。この地域では三玉宮（腰折様）に参ずると腰痛への霊験があると信仰されています。

社殿は頑丈さと、拝殿は昭和56年(1981)に改修されました。かつては社殿西側にクヌギの大木が神木として植えられていました。

（文：郷土研究会）

SLT

# 済世記念碑

| 設置位置 | | 表示内容 |
|---|---|---|
| 所在地 | 岡山市北区三和1757 | |

岡山歴史散歩 ―もっと歴史を知る―

さいせい　き　ねん　ひ

## 済世記念碑

藤井静一氏は、明治3年(1870)に和三の次男として安部遺地区（岡山市北区三和）に生まれました。社会福祉事業に生涯を捧げ、民生委員制度の生みの親の一人です。

藤井氏は、明治24年(1891)に大阪から帰郷した際に、故郷の農民たちが経済的に困窮する姿を目の当たりにし、困窮者の救済を開始しました。勤労と倹約を農民に啓蒙し、農村の再興につくしました。

藤井氏の活動は、当時の岡山県知事笠井信一氏の目にとまり、済世顧問制度（現在の民生委員制度の起源となるもの）を創設する参考とされ、藤井氏は最初の済世顧問の一人に選ばれました。

藤井氏の偉業を称え、大正12年(1923)に建てられた済世記念碑には、笠井氏の文が刻まれています。

「歴史と文化・もんじゃーの世の学会」
岡山市

# 済世庵

| 設置位置 | | 表示内容 |
|---|---|---|
| 所在地 | 岡山市北区三和1827-5 | |

凡例

✖ ：設置位置

# 藤井君紀功碑

| 設置位置 | | 表示内容 |
|---|---|---|
| 所在地 | 岡山市北区日応寺302 | |

# 金川城（玉松城）

| 設置位置 | | 表示内容 |
|---|---|---|
| 所在地 | 岡山市北区御津金川529-1 | |

# 煉瓦造りの鉄道施設

| 設置位置 | | 表示内容 |
|---|---|---|
| 所在地 | 岡山市北区建部町福渡967-10 | |

# 福の渡るまち　福渡

| 設置位置 | | 表示内容 |
|---|---|---|
| 所在地 | 岡山市北区建部町福渡498-15 | |

岡山歴史散歩　－まちの歴史をあるく－

福の渡るまち 福渡

福渡の地は、古くは美作国弓削郷に属し、領主の変遷はありますが、中世を通じて弓削荘の渡渡と称し、いつの頃か福渡と改称されました。

「行こうか岡山もどろか津山
ここが恋愛の渡渡」

古くから俚歌にうたわれた福渡の地は、備作街道の中間点に位置し、備前国との国境である旭川を渡す川渡し（八幡の渡し）がありました。また、旭川を上下する高瀬舟の寄港地であるなど水陸交通の要衝で、周辺集落の物資の集散地として栄え、旭川と共に宿場町、商業のまちとして発展しました。津山藩主であった森氏は、川船に関する禁制を定め、福渡の地に船番所を置いて川船の統制を図ったと云われています。

現在も公共交通の要衝である福渡駅をはじめ、駅近くには八幡神社や金福山妙福寺、旭川対岸には八幡温泉や七社八幡宮など、幸福の「福」や末広がりの「八」が付く縁起の良いスポットが多く、福の渡るまちとして知られています。

（表示設置：福渡町内会）
岡山市

# 野口のサイフォン～大地に水を引く～

| 設置位置 | | 表示内容 |
|---|---|---|
| 所在地 | 岡山市北区建部町川口2332付近 | |

# 箕地延命地蔵

| 設置位置 | | 表示内容 |
|---|---|---|
| 所在地 | 岡山市北区建部町西原921-1 | |

岡山歴史散歩 ―まちの歴史を知る―

みのしえんめいじぞう

## 箕地延命地蔵

箕地峠にある延命地蔵（高さ約1.2m、幅約0.5m）は、健康長寿に御利益がある地蔵として親しまれてきました。

『岡山県金石史』によれば、延命地蔵に元徳2年(1330)の銘があると報告されていますが、現在は摩滅して判読はできません。地方の作としては、彫りの造詣が深い格調高いものとされ、岡山市重要文化財に指定されています。

またの名を子安地蔵とも呼ばれ、布教の関係で土の中に500年ほど埋められていたと云います。この地蔵は顔の摩耗が激しく、それは旅で疲れた人々が、仏に訴えてその御利益に預かりたくて、石を投げつけたためといわれています。

（看板提案：西原町内会）

岡山市

# 腰折れ地蔵

| 設置位置 | | 表示内容 |
|---|---|---|
| 所在地 | 岡山市北区建部町富沢770-1 | |

岡山歴史散歩 ―まちの歴史を知る―

こし　　しぞう
腰折れ地蔵

その昔、心よからぬ者が、お地蔵様を盗もうと思い、村のはずれの渡し場まで運んできて、担いで舟に積もうとした時のことです。お地蔵様が急に重くなって、とうとう地面に投げ出してしまい、腰のあたりから折れてしまいました。盗人たちは、急に重くなったお地蔵様の霊力に恐れ、元に返そうとした途端、急に軽くなったそうです。

元に返されたお地蔵様は、腰折れ地蔵と呼ばれ、その後も霊験あらたかで、特に足や腰の病に効能があるとされています。それゆえに参詣人は後を絶たず、寛保(1741～1744)の頃、お地蔵様の周辺には21軒もの茶屋が軒を連ねて並び、多くの参詣人で賑わっている様子が『備藩録』に記されています。

この腰折れ地蔵は鎌倉時代の作とされ、彫りの造詣が深い、石造地蔵菩薩立像として、岡山県の重要文化財に指定されています。

（看板設置：富沢区町内会）
岡山市

# 成就寺

| 設置位置 | | 表示内容 |
|---|---|---|
| 所在地 | 岡山市北区建部町富沢679付近 | |

岡山歴史散歩 ―まちの歴史を知る―

成就寺

天平勝宝4年(752)、孝謙天皇が御病気の際に芳賀坊へ病気平癒の祈祷を命じました。芳賀坊は21日間、天皇の病気快癒を祈り、天皇は白ならずして御快癒されたと云われています。

芳賀坊の法力に感謝した天皇は、「報恩大師摩訶上人」という称号を授けました。さらに恩賞として、備前国に四十八ヶ寺建立の勅許を与えられました。

その後、報恩大師は金山寺（岡山市北区金山寺）を始めとした備前四十八ヶ寺を建立し、最後に建てた寺を「大願成就したる道場」ということで「成就寺」と名付けたと云われています。

山門の仁王像（木造金剛力士立像）は岡山県の重要文化財、三重宝塔は岡山市の重要文化財に指定されています。

（看板提案：富沢区町内会）

岡山市

# 鉾立岩と多自枯布勢神社

| 設置位置 | | 表示内容 |
|---|---|---|
| 所在地 | 岡山市北区建部町田地子1541 | |

岡山歴史散歩 ―まちの歴史を知る―

ほこたていわ　たしこみ　せいんじゃ

## 鉾立岩と多自枯布勢神社

鉾立岩の由来は、出雲神の大穴牟遅命（大国主命の別称）が来られた時、鉾立池の傍にあった大岩に腰を下ろして休み、鉾を立てたことと云われています。

昔、この周辺は木がうっそうと繁り、猛獣や妖怪が出没して人々を苦しめていました。その時、大穴牟遅命がこの地にやって来て猛獣等を退治し、人々を安心させました。さらに荒地を開いて田を作り、村人に稲作を教え、水の出る穴を見つけて、干ばつの心配をなくしました。

そこで人々は大穴牟遅命を田の神、水の神として大穴の地に祀り、南降布勢明神と称し、後に多自枯布勢神社と改めました。その後、昭和27年(1952)頃に多自枯布勢神社に合祀し、今は祠のみが残っています。

また、大国主命の子は事代主命であり、多自枯布勢神社の祭神です。このように親子の神がこの地と関係し、地名の田地子や大穴の由来にも関係する興味深い伝承です。

（看板設置：田地子区）
岡山市

# 八幡の渡し跡

| 設置位置 | | 表示内容 |
|---|---|---|
| 所在地 | 岡山市北区建部町建部上542-1 | |

# 題目岩跡

| 設置位置 | | 表示内容 |
|---|---|---|
| 所在地 | 岡山市北区建部町建部上 | |

岡山歴史散歩 ―まちの歴史を知る―

だいもくいわあと

## 題目岩跡

幽すいな路のあるこの地を、地元では「お題目」と呼びます。

昔、このあたりは岩が川縁まで迫って、人々は大井手（用水路）の縁を生活路としていました。この難所では、多くの人や馬が倒れ、これを哀れんだ人々が浄財を募って、天保11年(1840)に「南無妙法蓮華経」とも字の題目を岩に刻んで、その冥福を祈ったと云います。

題目は妙福寺（岡山市北区建部町福渡）の日蓮上人が書いたと云われ、その長さは約9m、岩に刻んだ一文字には米が1斗5升も入ったと云われています。

この題目岩は、昭和9年(1934)の室戸台風による大水害で崩れ落ちてしまいました。現在はその破片の一部が引き上げられ、祀られています。また、文字が刻まれていた岩の一部は、眼下の川中に今も見ることができます。

（取材協力：建部上区町内会）

岡山市

# 日本最大の石造取水堰　建部井堰

| 設置位置 | | 表示内容 |
|---|---|---|
| 所在地 | 岡山市北区建部町品田714 | |